

私たちの確かな未来へ

～大人と子どもの力でよりよい未来を！～

平成20年7月7日から北海道洞爺湖サミットが開かれます。この会議では、地球温暖化防止を中心とする環境問題が重要なテーマであるといわれています。北海道洞爺湖サミットに先立ち、6月26日から、地球の温暖化防止に向けての大きな約束である「京都議定書」が採択された私たちの京都で、外務大臣の会議が開かれます。

私たちが暮らすこの京都は、1200年の歴史と伝統を誇り、「世界歴史都市」「国際観光都市」とも言われ、美しい自然や景観のほか、古い文化財や磨きぬかれた伝統の技がまちにあふれています。先人の知恵により、環境に負荷をかけず、自然と共存する中で、これらを維持し発展させてきました。

私たちはこれまでに、きれいな水や多くの生き物が住む京都の豊かな自然を守り、私たち自身が生きる未来の地球のために、何をしなければならないかを学んできました。

そして、本日「京都ジュニア環境サミット」を開き、私たちが学んできたことを基に、人間をはじめとする生き物が生活するうえで密接に関わっている、水のことや地球温暖化のことを中心にして子どもがしなければならないこと、大人の人にしてもらわなければならないことなどについて、発表したり、ご意見を頂いたりしました。

環境に関わる様々な問題は、私たち子どもだけが行動化しても解決できることは多くはありません。大人の人と共にそれを行動に移すことが必要です。今、皆で環境をよくしていこうという取組を進め、このかけがえのない魅力あふれる京都のまちを未来に引き継いでいく努力をしなければ、私たちの未来はありません！

先人の知恵と *DO YOU KYOTO?* の精神を活かし、環境改善に向けての行動の輪を京都に、日本に、そして世界へと広げ、よりよい未来を創造していくために、「KYOTO 行動アピール」を宣言します。

KYOTO行動アピール

1. 水を大切に使います。

水は、生き物の命の源です。水を汚すことは生き物の命に大きく影響します。いろいろな生き物が生きていける環境を維持していくためにも水のことを考えることは大切です。また、水が豊かにあり、あまり気にせずに使ってきた私たち、水源から蛇口までどれだけのエネルギーが使われるのか気にもせず、過ごしてきました。自分の生活を振り返ったとき、洗顔のときや風呂のシャワーなど、水を出しっぱなしにしていることが多くあります。洗濯や風呂など大丈夫ですか。また、食器洗いなど、水が汚れないような工夫をしていますか。

2. 電気やガスなどのエネルギー源の無駄づかいはしません。

街中を歩いてみると、昼間の明るい中での余分な照明、エアコンの過剰な設定温度、アイドリングストップといいながらエンジンをふかして信号待ちしている車など、地球温暖化の原因にいっぱい気づきます。家の中で使っていない電灯やテレビをこまめに消して節電していますか。

3. 「もったいない」の精神を行動に移します。

私たちは、レジ袋、紙など、便利だといって物を消費することに慣れてきています。まだ使えるものを再使用することもなく、ゴミとして捨ててしまうことがあまりにも多いのではないのでしょうか。物を消費することは、エネルギーの消費につながります。無駄づかいをすることで、地球の温暖化がますます進んでいきます。子どもも大人も限られた資源を有効に使っていますか。

4. DO YOU KYOTO? を積極的に進めていきます。

環境によいことをしていますか。ということ、京都議定書が採択された場所にちなんでこのように言います。この言葉は、環境に関心のある国では、環境保全のための行動化に向けての合言葉となっています。京都は、自然豊かな伝統に育まれたまち。自然をうまく活用し、環境に適した様々な取組が、受け継がれています。環境にやさしい生活をしていますか。

5. 環境についての学習を進めます。

環境問題が私たちの身近にあることや、様々な取組が生活環境をよくしていくことなどを学んでいくことが必要です。私たちが、環境について学ぶ機会はそんなに多くはありません。もっと、環境について学ぶ機会が必要だと思います。学ぶことで、私たちの未来がよりよいものになっていくはず。皆さんは、環境について学んでいますか。

平成20年6月22日

京都ジュニア環境サミット